

■ 循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患-手術なし-処 置1: 1あり-処置2:なし	42	4.91	3.07	0.00%	73.76	
050130xx9900x0	心不全-手術なし-処置1:なし-処置2:なし- 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	28	21.57	17.33	3.57%	84.68	
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患-経皮的冠動 脈形成術等-処置1:なし、1, 2あり-処置 2:なし	18	7.61	4.18	0.00%	80.94	
050210xx97000x	徐脈性不整脈-手術あり-処置1:なし、1, 3あり-処置2:なし-副病:なし	11	12.46	9.59	0.00%	82.09	
050070xx99000x	頻脈性不整脈-手術なし-処置1:なし-処置 2:なし-副病:なし	-	-	5.64	-	-	

循環器内科では、狭心症による入院患者さんが最も多く、心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術・ステント留置術）やカテーテル治療前後の心臓カテーテル検査で入院される患者さんが多くなっています。次いで心不全や徐脈性不整脈の患者さんが多くなっています。心不全の患者さんには、患者さんの病状に合わせ薬物療法及びリハビリテーションを積極的に実施し早期在宅復帰に努めています。徐脈性不整脈に対してはペースメーカー植え込み術を行い、退院後はペースメーカーが正常に作動しているか、電池の消耗具合やリードに異常がないかを調べるため、定期的に検査を行います。

※-（ハイフン）は患者数が10未満。（本統計の集計条件に基づく）